

令和 8 年度
第 1 回 国営沖縄記念公園（海洋博地区）魅力向上推進協議会
＜議事要旨＞

■日時： 令和 8 年 7 月 8 日（火）13:30～15:30
■場所： 国営沖縄記念公園事務所 3 階会議室

■議事

【記念公園事務所】

①海洋博公園における部分開園日の指定・開園時間の変更について

- 施設の老朽化が進んでおり、より効率的な維持管理・点検を行うため、令和 8 年 7 月から毎週水曜日を「部分開園日」として試行している。
- 夕方以降の来園者が少ないこと等から、閉園時間を前倒し（8 時～19 時半→8 時～18 時）する試行を行っている。
- 現時点では大きな混乱はなく、今後利用状況を分析し、必要に応じて見直しを行う。

②令和 7 年度 海洋博公園内施設の改修等について

- 老朽化した 3 施設（植物管理センター・奄美の高倉・テニスコート棟トイレ）の改修・撤去を実施。トイレについて、利用頻度が高い場所から優先的に改修していく。
- ウォシュレットが未設置の障害者用トイレや、トイレトペーパーホルダーが古く使いにくいものがあり、観光地ではトイレは大切な問題なので、配慮をお願いしたい。

【（一財）沖縄美ら島財団】

③ 開園 50 周年記念事業の取組みについて

- 6 つの企画を予定。メインビジュアル・ポスター・タペストリー・SNS 等を活用し公園全体の魅力発信を行う。水族館との一体的な PR ビジュアルも制作する。
- 50 周年ウォークラリーについて、現在本部町・今帰仁村と調整中。教育委員会や観光協会とも連携して進めている。公園から地域への人の流れを作る良い企画だと考えている。
- 予算が限られる中、財団の知見を活かして 50 周年記念事業を来園者・地域の方々に多数企画・発信していただけることに大変感謝。これからは公園を地域の資産として使っていただくこと、そして公園内の様々な施設をつなぐことに力を入れていく必要がある。
- 50 周年の節目の年に、公園が整備された場所で立ち退きにご協力いただいた方々への感謝の気持ちをどこかで表現できないか。
- 海洋博覧会のための用地取得のため、海洋博 50 周年（昨年）と公園 50 周年（今年）という流れの中で、何か取り組めないか、勉強したい。

- 水族館の建設の歴史を来館者に映像で見せることはできないか。当時の技術が世界の水族館に広がっていることも含めて来館者に伝えることでリピートにつながる。
- 水族館の技術が世界に広がっている点は非常に重要。当時の関係者の記録や資料が残っていれば、パネル展の中で紹介するなど、歴史を感じられる工夫をしてもいい。

④「GREEN CHAMPUR00」について

- 令和7年10月に開催。植物愛好家だけでなく、これまで誘客できていなかった来園者層の来館促進に繋がった。
- 令和8年は10月9日～11日の3日間で開催予定。

⑤オキちゃん劇場 憩いの場イベントについて

- 令和7年11月に開催。バレエ・チャリディング・三線など県内団体が参加。集客力のある劇場を地域団体の発表機会として活用することで、来園者サービス向上だけでなく、地域文化の発信と地域団体支援にも繋がった。
- 今年11月にも開催予定。地域団体との連携の場として発展させていく。

【本部町】

⑥「もとぶの食と文化フェスタ」の実施報告と次回計画について

- 令和8年7月に開催。町内で生産したアグー豚やヤンバルピージャー、スッポン汁など、町民も知らない地元食材を発掘・活用して提供。
- OFly & Cruise in Park 構想推進協議会（本部・与論連携）として、ヨロン島観光協会等の協力を得てPRブース展示。イベント効果は非常に高い。
- 次回は令和8年10月に開催予定。伝統芸能（シニグ等）のPRを強化し、昼は食と文化で楽しみ、夜は町内で闘牛イベントを開催することで宿泊・消費につながる滞在型観光を目指す。

⑦トヨタラリーチャレンジ2026について

- 令和8年3月に開催し、来場者1万6千名。サービスパーク（海洋公園駐車場）がアスファルト舗装されていることが、関係者から高評価。トヨタの会長が地元の子供たちと植樹を行うなど地域との交流も実現し、新聞・マスコミへのPR効果が非常に高かった。
- 観光素材として育てるため、「ヤンバルラリーツーリズム受入推進協議会」の設立を提案したい。
- 記念公園・財団・本部町・観光協会などが一体となってしっかりした受入体制を作ることが重要。
- 協議会を立ち上げ、地域住民がラリーを理解し、観光素材として受け止めて応援する体制を作っていきたい。
- 今帰仁村も林道の一部を提供するなど協力している。子どもたちのために活用できる

よう調整中。村としても連携しながら取り組んでいきたい。

○新しいことにチャレンジしないと新しい未来は開けない。ラリー開催前は地域住民からのクレームを心配していたが、逆に大変喜ばれた。協議会を組織して受入れ体制を整えながら、アイデアを出し合いブラッシュアップしていきたい。

⑧（情報提供）横浜グリーンエキスポ概要

○沖縄県は復元する首里城正殿の形を模した展示を予定。ポスターを全庁掲示板に貼るなど、連携して取り組んでいきたい。

○財団は、3月末の開幕当初は沖縄の花が難しい時期なので、最初の1ヵ月は別の花で対応し、良い時期になったら沖縄の花を中心に展示予定。

○今回の博覧会のテーマは環境問題。珍しい花を見せる時代から、博覧会を通じて環境問題の意識を高めるというコンセプトに変わってきている。詳細情報が入り次第、皆様にお知らせしたい。

■その他意見交換

○もとぶの食と文化フェスタについて、美ら島財団に実行委員会の主催として加わっていただき、公園内でのイベントをより充実させたい。

○今帰仁村にも食・文化的な資源があるので、協力しながら盛り上げていきたい。

○横断幕等をもう少し前に出してライブ感を出すなど、中央広場からイベント会場（郷土村）に人を誘導する仕組みができないか検討したい。

○今帰仁村に参加いただければお店の数も増えるため、お店の一部を中央広場に出すことにより誘導できる。

○現在はイベント会場の音響だけだが、放送で公園全体に三線の音を流せば、遠くの来園者が郷土村に集まるのではないか。

○知らずに来た人が気づいてイベント会場に来られるくらい放送にしたい。

○水族館と公園が連携してイベントごとに宣伝する仕組みを作っていきたい。

○生の演奏が聞こえ、御嶽（うたき）という沖縄の集落の場所で、生の沖縄の食を食べるといった文化的な体験ができる。これは素晴らしい観光コンテンツである。